

第1回「市民の広場」を考えるワークショップ 実施結果概要

ママの部（子連れ参加可・託児サービス付）

■概要

【日時】

・2022年9月29日（木） 10:00～12:00

【場所】

・サンフレッシュ白河 会議研修室

【参加者】

・7名（託児サービス利用3名）

【次第】

- 1) 開始の挨拶
- 2) ワークショップの具体的内容の説明
 - ・現状プランの説明、他事例の紹介、ワークショップの進め方
- 3) ワークショップ（ディスカッション）
 - ・施設の使い方、それぞれの機能・配置について
 - ・広場と施設のつながりや広場について



【事例紹介】

- ・広場の事例（南池袋公園、ラゾーナ川崎イベント広場、品川シーズンテラス、小諸市庁舎、甲府市庁舎、富岡市役所、みんなの森 ぎふメディアコスモス、松山市 花園町通り、仙台市 定禅寺通り、かすみ市防災アリーナ）
- ・インクルーシブ公園の事例（砧公園、海外事例）
- ・水のある広場の事例（東京スカイツリー、熊本駅前広場、白河木場親水公園）

【ワークショップ（ディスカッション）】

（総括）

- ・広場については、子どもの遊び場やマルシェ、朝市、キャンプなど、子ども達の遊び場機能+イベント等の多目的機能を求める意見が挙がった。
- ・屋外の広場だけでなく屋内の空間も広場として一体に使えるとよい（マルシェなどで）という意見も挙がった。
- ・子どもの遊び場としては、トランポリンやネット（網）などの遊具、水のある遊び場やそれを見守る親のためのスペース（ベンチやカフェなど）について意見が挙がった。
- ・施設の使い方としては、ベビーマッサージや親子フリー教室、カルチャースクールなど、各種教室の開催を求める意見が挙がった。

一般の部

■概要

【日時】

- ・2022年10月01日（土）13：30～15：30

【場所】

- ・白河市役所 5階正庁

【参加者】

- ・12名（一般応募者7名、市若手職員5名）

【次第】

- 1) 開始の挨拶
- 2) ワークショップを開始するにあたり
（複合施設基本設計検討委員会委員長 市岡綾子 日本大学工学部専任講師）
- 3) ワークショップの具体的内容の説明
・現状プランの説明、他事例の紹介、ワークショップの進め方
- 4) ワークショップ（ディスカッション）
・施設の使い方、それぞれの機能・配置について
・広場と施設のつながりや広場について
- 5) 全体報告
・各グループの発表、その他自由意見



【事例紹介】

- ・広場の事例（南池袋公園、ラゾーナ川崎イベント広場、品川シーズンテラス、小諸市庁舎、甲府市庁舎、富岡市役所、みんなの森 ぎふメディアコスモス、松山市 花園町通り、仙台市 定禅寺通り、かすみ市防災アリーナ）
- ・インクルーシブ公園の事例（砧公園、海外事例）
- ・水のある広場の事例（東京スカイツリー、熊本駅前広場、白河木場親水公園）

【ワークショップ（ディスカッション）】

（総括）

- ・広場については、子どもだけではなく大人も遊べるような遊具の設置、踊りやお祭り、マルシェ、キャンプなどのイベント機能、菜園・お花見など植栽計画に関する意見が挙げられた。
- ・広場と複合施設の関係についての議論もあり、音楽関係やパブリックビューイングなどの鑑賞機能の充実を求める意見が挙げられた。
- ・その他の意見として、イベント時には、隣接する小峰通りや駅前広場など、複合施設の広場との一体的な利用について提案があった。

第2回「市民の広場」を考えるワークショップ 実施結果概要

ママの部（子連れ参加可・託児サービス付）

■概要

【日時】

・2022年10月13日（木） 10:00～12:00

【場所】

・サンフレッシュ白河 会議研修室

【参加者】

・5名（託児サービス利用3名）

【次第】

- 1) 開始の挨拶
- 2) ワークショップの具体的内容の説明
 - ・現状プランの説明、前回のおさらい、他事例の紹介
- 3) ワークショップ（ディスカッション）
 - ・施設の使い方、それぞれの機能・配置について
 - ・広場と施設のつながりや広場について
- 4) 全体報告

【事例紹介】

- ・広場の事例（南池袋公園、ラゾーナ川崎イベント広場、品川シーズンテラス、小諸市庁舎、甲府市庁舎、富岡市役所、みんなの森 ぎふメディアコスモス、松山市 花園町通り、仙台市 定禅寺通り、かすみ市防災アリーナ）
- ・インクルーシブ公園の事例（砧公園、海外事例）
- ・水のある広場（東京スカイツリー、熊本駅前広場、白河木場親水公園）

【ワークショップ（ディスカッション）】

（総括）

- ・広場については、屋外での読書や青空教室など、気分転換だけではなく子連れでも周囲に気を使わない場所としての活用を求める意見が挙がった。
- ・可動式の家具・什器の提案、パラソルやテーブルの貸し出しなど、屋内外問わず自ら居場所を作るような意見も挙がった。
- ・子育て支援について、地元のシルバー人材の活用や夜間の託児サービスなどをやってほしいという意見と共に、親御さんたちが日々の子育てから解放され自由に過ごしたいという意見が挙がった。
- ・『乳幼児健診の日に赤ちゃんのためのフリマを開くなど、施設に行く目的がマッチしていると良い』といった、複合施設ならではの機能を求める意見も挙がった。



一般の部

■概要

【日時】

・2022年10月15日（土） 13:30～15:30

【場所】

・白河市役所 5階正庁

【参加者】

・15名（一般応募者9名、市若手職員6名）

【次第】

- 1) 開始の挨拶
- 2) ワークショップの具体的内容の説明
 - ・現状プランの説明、前回のおさらい、他事例の紹介
- 3) ワークショップ（ディスカッション）
 - ・施設の使い方、それぞれの機能・配置について
 - ・広場と施設のつながりや広場について
- 4) 全体報告

【事例紹介】

- ・広場の事例（南池袋公園、ラゾーナ川崎イベント広場、品川シーズンテラス、小諸市庁舎、甲府市庁舎、富岡市役所、みんなの森 ぎふメディアコスモス、松山市 花園町通り、仙台市 定禅寺通り、かすみ市防災アリーナ）
- ・インクルーシブ公園の事例（砧公園、海外事例）
- ・水のある広場（東京スカイツリー、熊本駅前広場、白河木場親水公園）

【ワークショップ（ディスカッション）】

（総括）

- ・平日の広場については、下校中の学生たちが寄りたくなるような仕掛け（キッチンカーやブックカー等）の設置や、夜市・ワークショップなどのイベントを平日に実施したいという意見が挙がった。
- ・平日の施設については、子連れでも対応できる窓口や時間を問わない託児サービスなど、子育て支援機能の充実を求める意見が挙がった。
- ・その他、屋外（広場）でのリモートワークや会議をやりたいといった意見や、資格取得の講座・カルチャースクール・スポーツ教室・習い事教室など、大人から子どもまで幅広い世代が学べる場所として利用したいとの意見が挙がった。

